

# 日本庭園

庭園は、平成元年4月、区画整理事業の竣工を記念し、「郷土の森に恵まれた清流とその恵み」をテーマとして、前谷津川の名残として水景を配して築造された。

庭園面積は、約360坪。(約1200㎡)  
茶庭(露地)を中心に日本庭園の代表的な造園技法を取り込んでいる。

## 庭園

庭園の構成は、茶室周りの茶庭(露地)と池を中心とした浄土式庭園になっている。  
※浄土式…極楽浄土の世界を庭に再現したもの。滝のあたりを山、池を海、池の周辺を海岸に見立てて植栽をしてある。

## 亀島・鶴島

日本庭園の池庭や枯山水に見られる代表的な島の形式、蓬萊・神仙思想を受け、長寿・招福を願いつくられた。鶴は千年、亀は万年と古代からいわれていて、中国でも日本でも庭園構成のモチーフとなっている。

※神仙思想…不老不死の術で会得し人類不変の思想である永遠の生を得ようとする思想。

## 石庭

枯れ山水。9個の石を配し須弥山を象徴する九山八海を演出している。石を四堅五横と立て、九字の心にて怒敵悪鬼等を払うという意がある。  
※須弥山…仏教の世界観で、世界の中心にそびえ立つという高山。

## 滝

「竜門の滝」に見立てた造り。滝の落ち口左手の石は、滝を昇る鯉の姿を表す「鯉魚石」(りぎよせき)と呼ばれている。  
※竜門の滝…中国黄河にある激流の滝。この滝を昇って竜になったという、古い伝説をもとにつくられた。

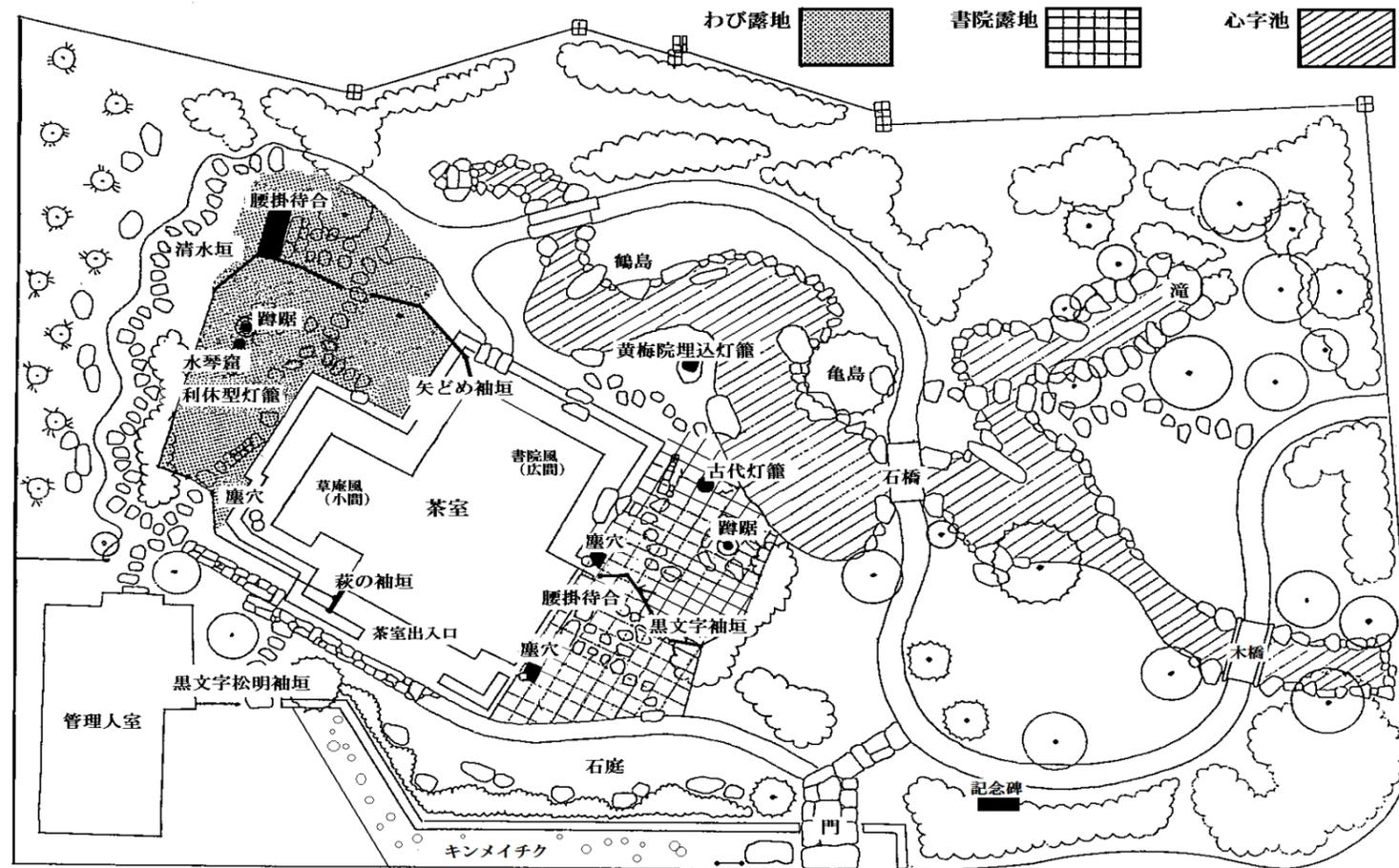
## 露地

茶会のために構成された庭。露地庭の全域は外垣で囲われ、露地庭の入口から茶室までは飛び石または、延段で続く。中間には中門があり、庭を外露地・内露地に分ける二重露地の場合と中門のない一重露地の場合とがある。

## 心字池

「心」の字をかたどった池のこと。

# 日本庭園～案内図～



## キンメイチク (イネ科)

稈(かん)に入る金色の筋と、枝の出た上部の溝の薄い緑色とのコントラストが美しい。マダケの一品種。  
※かん…節と節の間の幹



## 灯籠

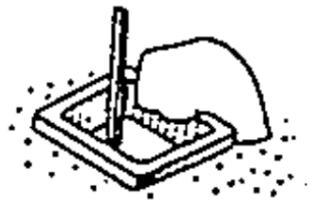
庭園での灯籠は夜間通行に際しその足元灯籠として園路を照らすばかりでなく植え込み・築山・池泉や手水鉢などに添えて夜間の景趣を引き立てる。昼間の添景物としての効果もある。

## つくばい 蹲踞



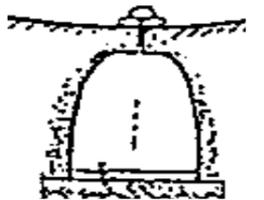
茶室に入る前に手水を使うための手水鉢を中心に一組の役石で構成されたもの。手水鉢は地上に低く据えられているため、うずくまる、しゃがむ、つくばうように水を使うところからこの名前がある。

## ちりあな 塵穴



くず籠が恒常的に設けられたもので、絶えず露地を清浄とする思想が形となったものである。軒内に設けられ、硯石と青竹の箒が添えられる。

## すいきんくつ 水琴窟



地中に小洞窟・伏瓶を設け、その中に蹲踞などから水を導き、生ずる水滴音を反響させ再び地上に漏れてくる音を楽しむもの。

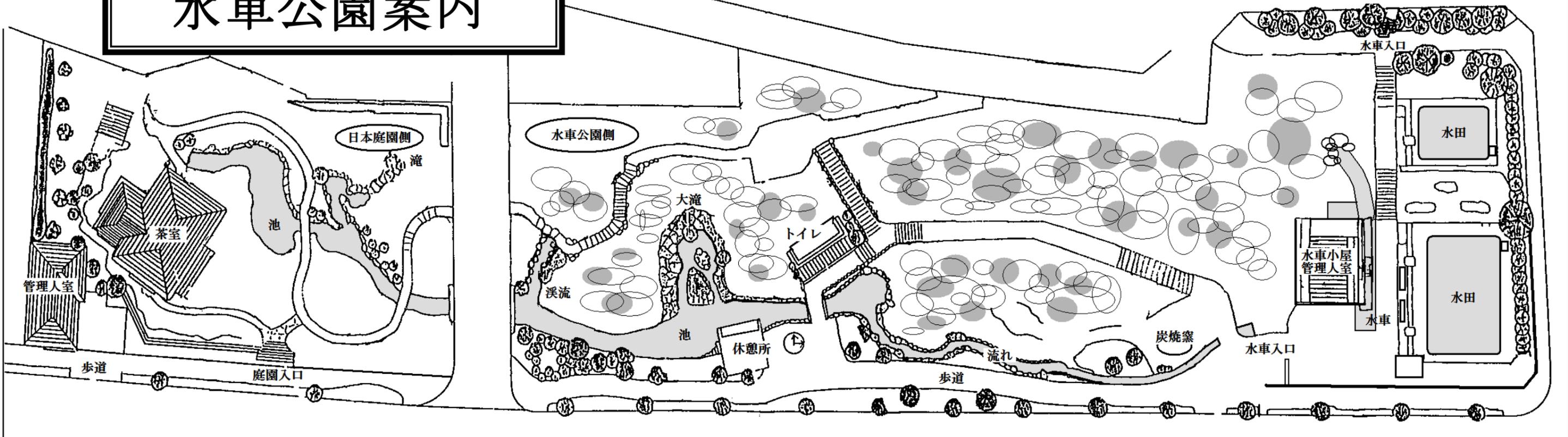
## そでがき 袖垣

建物の柱や壁から庭に向かって、直角に袖状に短く突出した垣根。他の庭垣と異なり建物の端などに設けられ、縁先手水鉢の背景として効果的。材料によって萩垣・竹垣・黒文字垣などがある。

## こしかけまちあい 腰掛待合

茶会の時、客が亭主の迎付けを待つ、あるいは中立ちのあと再び後入りの合図を待つところ。

# 水車公園案内



## ● 水車公園 ●

かつては、板橋区でも水田稲作が行われていました。そのころ水車小屋や水田風景は珍しいものではありませんでした。しかし、現在では地方に行っても、水車を見る機会は少なくなりました。そこで、水車公園では農業の歴史と暮らしを再現するために、水車と水田を復元しました。

また、水車公園には、散策路や日本庭園があり、小川の流れるのどかな風景をいつでも見ることが出来るようになっていきます。公園内には木々や草花も多くあり、四季折々の風景を楽しむことができます。田園風景の季節の移り変わりを年間通して、お楽しみください。

### 〔水車小屋〕

水車は、回し方により上掛け・胸掛け・下掛けの三種類に分かれます。

水車公園内の水車は上掛け式です。池から流れ落ちる水で水車を回し、その回る力を動力として、小屋の中で米をついたり、粉をひくことができます。

### 〔水田〕

青々とした稲が伸び、やがて色づきそして米を実らせ、金色の稲穂が頭をたれる。そんな田園風景を身近に感じていただけるように、水車公園の水田では毎年、近隣の小学校に参加していただき水田事業（田植え・稲刈り等）を行っています。

水田稲作を通して一年の季節の移り変わりと共に体験することができます。

### 水車公園概要

- 所在地  
板橋区四葉一、十七、十二
  - 電話  
(〇三)三九三〇・四九五二
  - 敷地面積  
四五〇・〇八㎡
  - 休日  
十二月二十八日～一月四日
  - 開園時間  
午前九時から午後四時半まで
- ※茶室の利用申し込みは、土木部管理課占用係まで  
電話(〇三)三五七九・二五〇五

### 交通機関

#### 徒歩でお越しの方

- ◆ 東武東上線より  
下赤塚駅 下車 徒歩二十分
- ◆ 都営三田線より  
高島平駅 下車 徒歩三十分

#### バス利用の方

- ◆ 東武東上線 下赤塚駅 下車 高島平操車場 行き
- ◆ 東武東上線 成増駅 下車 赤羽駅西口 行き
- ◆ 東武東上線 成増駅北口 下車 志村三丁目駅 行き
- ◆ 都営三田線 高島平駅 下車 下赤塚駅 行き
- ◆ 都営三田線 志村三丁目駅 下車 徒歩五分
- ◆ 赤羽駅西口 下車 成増駅 行き
- ◆ 赤羽駅西口 下車 徒歩五分
- ◆ 東武東上線 下赤塚駅 下車 都営三田線 新高島平駅 運行
- ◆ 赤羽駅西口 下車 徒歩五分